

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和5年12月18日 午後1時30分から
3 会場	西部公民館 第5学習室
4 出席者	天田委員、上原委員、小川委員、金井委員、小林正人委員、小林みゆき委員、駒崎委員、塩入委員、清水悟委員、竹内委員、田中委員、橋詰委員、増田委員、宮下委員、柳澤委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】星野中央地域振興政策幹、木嶋西部地域振興政策幹、横澤豊殿地域自治センター長、馬場豊殿地域振興政策幹、竹花地域内分権推進担当係長、近藤地域内分権推進担当主査、唐澤地域内分権推進担当主査、腰原地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年12月26日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

(1) 上田市に提出する意見書(案)について

事務局から意見書(案)について説明

以下、主な意見

(委員)千曲市は1つ、長野市は浄水場が2つ無くなるからメリットはあるが、上田市のメリットは何か。強いて言えば塩田地域、川西地域でも染屋浄水場の水が供給されること。上下水道審議会は諮問されており、どういう答申が出るか注目するところである。上田市がどういう方向で進めるのか、市民に示していくことが大事である。

(2) 分科会に分かれて調査・研究

【第1分科会：教育・福祉・子育てについて】

上田市に提出する意見書(案)について検討

意見書案の修正はなしと決定

以下、主な意見

- ・豊殿地区デマンドバスもいつまでも県の補助金は受けられない。稼働率も高い。
- ・タクシー会社も人手不足で事業継続に必死のようだ。
- ・水道事業広域化に関する意見書案について、管路の台帳と現場があってなくて困るという話を聞く。
- ・多くの市民は普段から水道を使っているけど、引っ越し時以外、関心は低い。
- ・水道事業広域化で窓口が遠くなる印象がある。また、水道の質が低下しないか懸念する。
- ・50年後の人たちに悪影響が出ないように判断する必要がある。
- ・水道事業広域化で水道管の敷設をやり直す必要があるのか。染屋浄水場の取水量を増やす必要はないのか。

【第2分科会：公共施設・事業について】

上田市に提出する意見書(案)について検討

体育施設、図書館、市営住宅について、修正等なく原案のとおり意見書を提出することを確認した。

【第3分科会：建設・産業について】

上田市に提出する意見書（案）について検討

表題「上田公共交通機関にスムーズに乗車できるようにする『公共交通乗り換え案内アプリ』の開発について」を「公共交通を軸にしたまちづくりの推進のため、上田地域の公共交通機関にスムーズに乗車できるようにする『公共交通乗り換え案内アプリ』の開発について」に修正することとした。意見項目に「2 アプリの利用促進について」を追加し、「アプリ運用後の必要に応じた改良」、「ポイント付与などのサービスの充実の検討」についての内容を追加することとした。

4 事務連絡

【次回】 第10回

日時：1月22（月）午後1時30分～

場所：豊殿地域自治センター

5 閉会